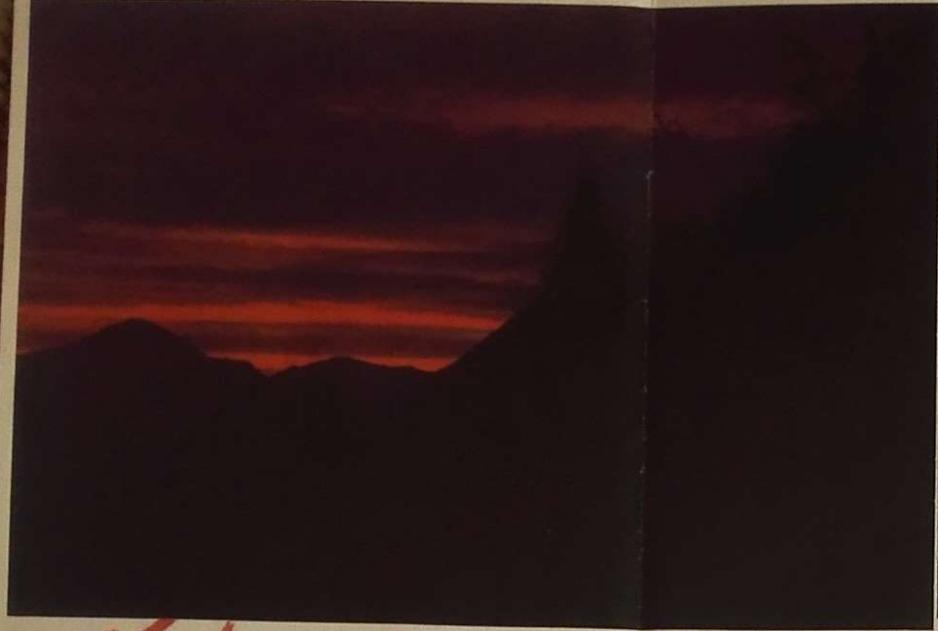


てんぎ新聞

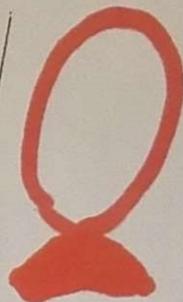
78.12.No258
発行 市岡日出夫
責任 0883-88-5292

朝の温度が、0度前後にな
つてくると、左の厚真の様は朝
焼けが見えろ様になります。
あつという間に秋色が散つ
てこま。霜の朝や氷も張つ
たりして、冬を体感してくん
る。いや、一年早すぎます。
とう十二月。二十八年もあと
一月目ですよ。
どへ行ってでもクリスマス、忘
年会ばかりで、なんだか



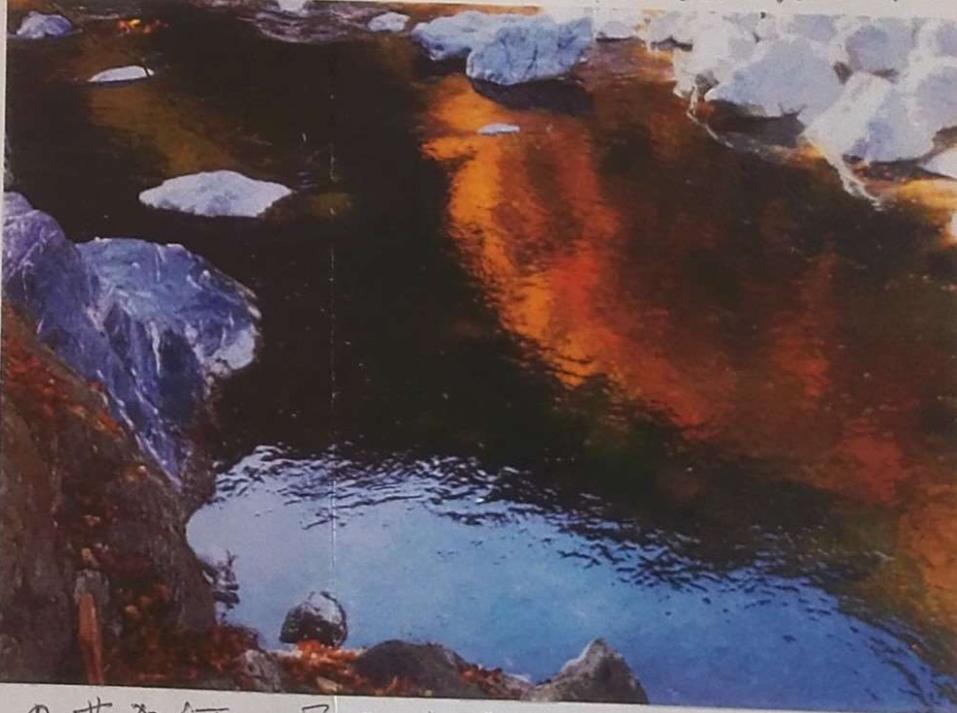
近頃

ありがとう



落ちつかなくなつてきます。
今年も一年間、こんど
新聞につきあつて下
さり、ありがとうござ
いまして。
祖谷の季節の写真真
也その時々、長くなる
事を思いつくまま書
いているだけの拙劣な
文章なのに、お返事
も頂いたり、嬉しい限
りです。

「本当にありがとうございませう。
今年も、なんといいこと池田高校祖谷
分校に、やまがら文庫をオープンする
ことが出来た事が一番です。
本とコピーと音楽を揃くめるとスペー
スを考えていた事が実現し、なによ
り、私自身が楽しんでいきます。
何回かは、友人、知人が集って談笑す
る日とあつたり、テイクアウトに参加して
皆さんと羊日、寄るべいなきました。
時には、何時間も60年70年のロクを
聞き続けたり、本にめぐりあひ、萬分
ご文字を追い続けたりと、満々た心
持になつてりまして。
持論、コピーの香りにひたり、犬りと
景色を眺める時の流れを感じる
時もあったりと、本当に満足です。



また、利用して下さる
も増えて、時々念え
ずをかけた下さつたり
本もいびききました。
また、遠くから多くの
を送つて頂き、増え続
ています。
又行政からもサポートし
頂き、松作りの本箱が多
く仕上り、現在、教室に
ると、香りがくさ気持が
てもいいとんずです。
「こんな事も出来るの
何んと言つても「えんじ」
からです。
草は飲んではいらるもの
の、祖谷の山々を歩き、日

常生活を築きあげていけるのはありがた
いのです。
今、を汲みしめていけるのが一番です。
他者と比べず、自分が感じることを大
切にまた一年、一年を積み重ねていけれ
ばいいなあり。
国会の事はもう「おいど」という感
か麻痺してる感じですか。
新聞に、三好市長さんの記事が、いい
入で全国に知られるのはいいのですが、公報
のコラムに、新聞の記事と同じ文章が書
かれていますという事です。
はさけはいやら呆れるやう。今まで支持
して来たから、よけいに、くさりそう
ななすけいないよ